

流域治水の自分事化について

(令和7年3月)



流域治水とやま



流域治水

- ・ 自分事化の取組について P 1 ~6
- ・ 常願寺川水系 P 7 ~9
- ・ 神通川水系 P 10~12
- ・ 庄川水系 P 13~15
- ・ 小矢部川水系 P 16~18
- ・ 参考資料 (説明用) P 19~

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化に適応していくため、流域のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」へ転換。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 **集水域**
[国・市・企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

流水の貯留

河川区域
[国・県・市・利水者]
治水ダム建設・再生、
利水ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
土地利用と一体となった遊水
機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]
河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／
住まい方の工夫 **氾濫域**
[国・市・企業、住民]
土地利用規制、誘導、移転促進、
不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
[国・県・市]
二線堤の整備、
自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 **氾濫域**
[国・県]
水害リスク情報の空白地帯解消、
多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

[国・県・市]
長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

[企業、住民]
工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

[企業、住民]
不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

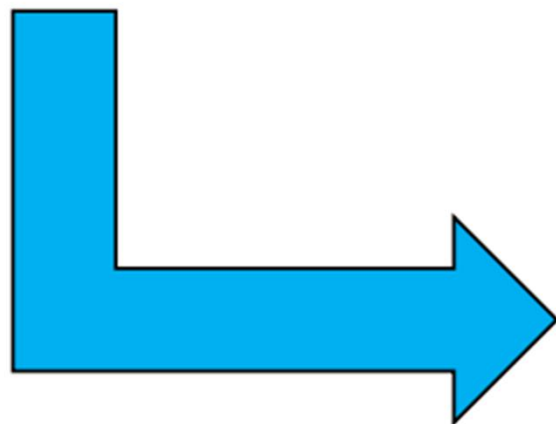
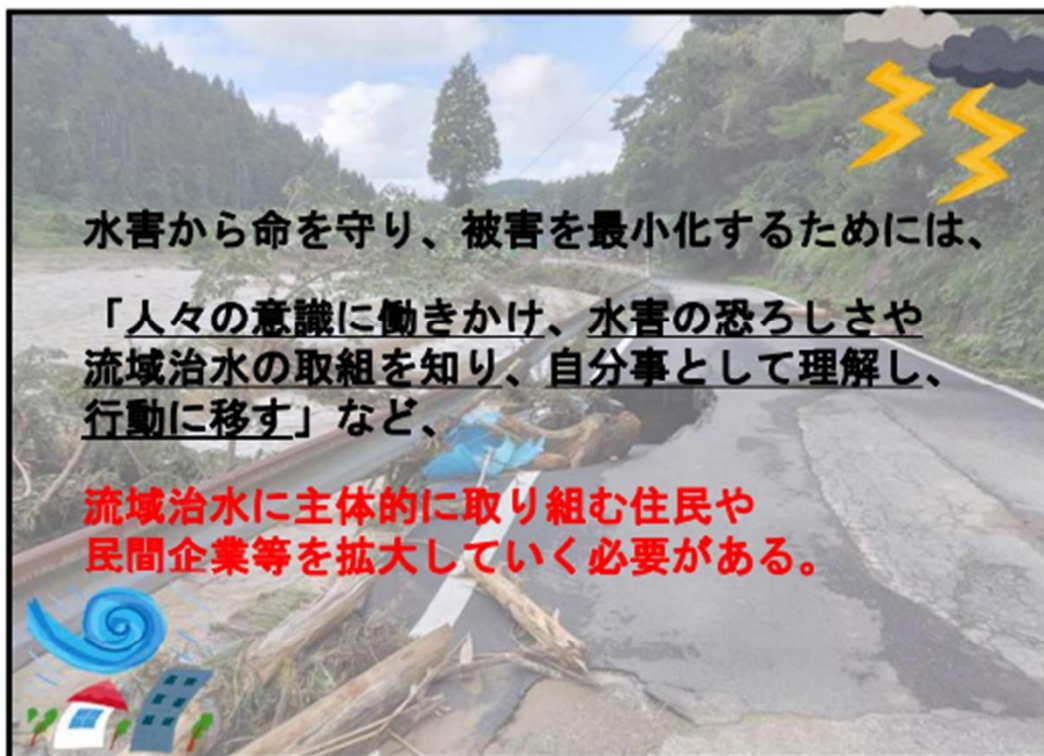
被災自治体の支援体制充実

[国・企業]
官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]
排水門等の整備、排水強化

県：都道府県 市：市町村 []：想定される対策実施主体



そこで、各種普及施策の推進状況やその効果等について「**流域治水の自分事化**」としてフォローアップを行い、関係者で共有の上、取組内容について**流域治水プロジェクト**に反映していく。



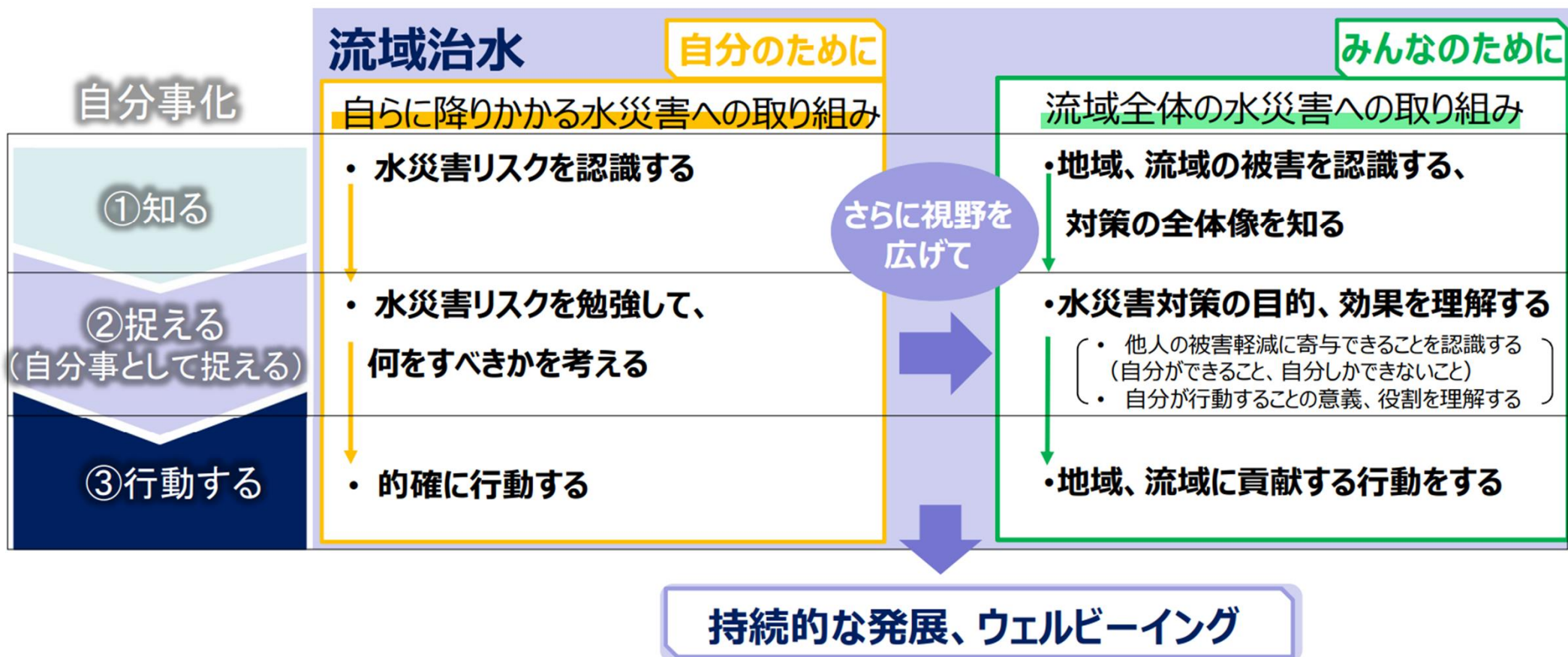
- 水災害について「知る」と「行動」することにはギャップが存在している。これを埋めるためには、自分事化として捉え主体的に行動することが必要であり、各自が行動の可能性や有効性を考える素材や機会を提供する施策が必要。



「知る」と「行動」をつなげる『自分事化』が課題

- 自らに降りかかる水災害への取り組みから、さらに視野を広げて、流域全体の水災害への取り組みへと自らの行動を深化させる。

⇒ 流域治水に取り組む主体を増やす。



#1 取組計画

- ・「流域治水の自分事化」としてこれから取り組んでいくための計画
- ・大規模氾濫減災対策協議会での取組等を参考に作成

#1 自分事化に向けた取組計画

●●川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和5年度の取組計画

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

①知る機会を増やす
水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えること
水災害のリスクが自分事と捉えられ、きっかけを提供し、行動に向かう状況

③行動を誘発する
流域治水に取り組みを始める

連携活動
○メディアとダム・砂防堰堤等の管理をわかりやすく伝えるための勉強会を実施（●回、●人）
○流域市町村の小学校から社会科見学等の機会を利用してダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明（●回、●人）

教育活動
○自主防災組織等からなる防災講話や、県との研修会等（●回、●人）
○分かりやすい教材等を用いた防災教育（●回、●人）
○小中学校への防災教育・タイムラインを活用した出前講座（●回、●人）

流域治水の広報
○広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施（●市町村、●回）

リスク情報等の提供
○浸水想定区域、土砂災害計画区域等の公表（●地区）
○総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布（●市、●町等）
○避難場所や経路に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）

周知、連携活動中心

#2 ロードマップ

- ・「流域治水の自分事化」の取組の年間ロードマップ

#2 令和5年度：自分事化に向けた取組のロードマップ

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期
①知る機会を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ○水災害、流域治水の広報 地域：個人 企業・団体 ○連携活動 地域：個人 ○リスク情報等の提供 地域：個人 企業・団体 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動 地域：個人 ○訓練活動 地域：個人 ○計画策定 地域：個人 企業・団体 ○水災害対策の支援 個人 ○水防活動の支援 地域：個人 企業・団体
②自分事と捉えることを促す	<ul style="list-style-type: none"> ○水防活動の支援 地域：個人 企業・団体 	<ul style="list-style-type: none"> ○水防活動の支援 地域：個人 企業・団体
③行動を誘発する	<ul style="list-style-type: none"> ○水防活動の支援 地域：個人 企業・団体 	<ul style="list-style-type: none"> ○水防活動の支援 地域：個人 企業・団体

#3 自分事化に向けた取組のフォローアップ例

市町村等の実施主体別にページを分けることも可

参考様式 国土交通省

●●川水系流域治水協議会（●●市）

結果報告： 具体的な取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

①知る機会を増やす
水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す
水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野を広げられるきっかけを提供し、行動に向かう状況を生み出す。

③行動を誘発する
流域治水に取り組みを始める

連携活動
○ダム、砂防等インフラの役割、メカニズムが伝わるツアーの開催

教育活動
○分かりやすい教材等を用いた防災教育（●回、●人）
○小中学校への防災教育・タイムラインを活用した出前講座（●回、●人）

訓練活動
○住民参加型の避難訓練を実施（●市町村、●回、●人）

水防活動の支援
○水防活動拠点整備（●拠点）

水災害対策の支援
○企業の自営水防の取り組みを支援（●社、●拠点）

計画策定
○地下空間・地区タイムラインの作成・周知（●地区、●回開催）

流域治水の広報
○河川空間の利用を通じた意識醸成（●箇所、約●人が川の日に「水辺で乾杯」を実施）

リスク情報等の提供
○浸水想定区域、土砂災害計画区域等を公表（●地区）
○総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布（●市、●町等）
○避難場所や経路に関する情報を周知（気象・防災情報の提供を●地区等で実施）

実施内容を記入

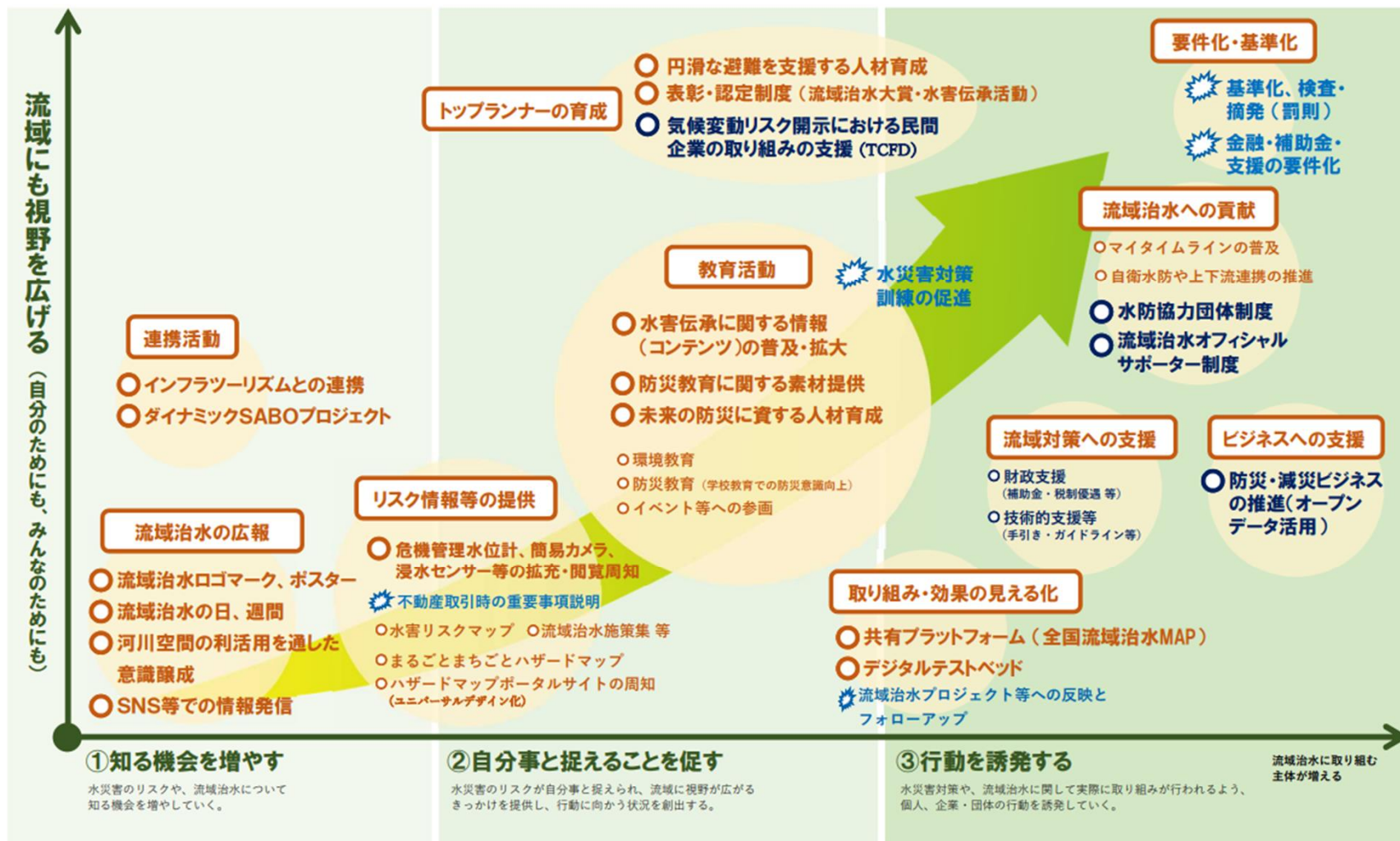
訓練活動
○危機管理型水位計・監視カメラを設置、増設（●河川、●箇所設置）

#3 フォローアップ

- ・各機関の取組状況の確認・共有

各水系で#1～3の3つでフォローアップを行っていき
流域治水プロジェクトへ反映していく

流域全体の取組へ



流域治水に取り組む主体を増やす

課題である「自分事と捉え主体的に行動すること」「自らの行動を深化させること」を達成するために足りない施策・施策の連動性について見ることができ、より有効な対策が出来る。

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【常願寺川水系】

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに係る令和7年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 世界遺産登録推進事業(人材育成プロジェクト)ユースプログラム、シンポジウムの支援<国>
- 流域治水対策のための他機関連携<国、関係機関>
- 砂防講演会の開催<国>年1回
- 防災講演会の支援<国>

水災害・流域治水の広報

- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- 「砂防フェア」にて土石流体感3Dシアター、土砂災害ミニ模型、パネル等の展示<国、県>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<国、県、市町村>
- 浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援<国>
- 浸水実績の周知<市>
- 富山地区広域圏クリーンセンター展望台等での流域治水紹介パネル展示<国>

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施<国、県、市町村>
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<国>
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施<県>
- 高校生・大学生を対象とした砂防体験学習の実施<国、県>
- 住民を対象とした出前講座、砂防・防災勉強会の開催<国、県、市町村>
- 住民を対象としたマイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組<国、県、市町村>
- 土砂災害防止月間の砂防フェア<国、県>年1回
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等<町>

リスク情報等の提供

- 水位計・監視カメラの整備・活用、ホームページから管内CCTV映像・雨量情報・土砂災害リスク情報の発信、インスタグラム、フェイスブックでの一般公開<国、県>
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成<県>
- 防災気象情報の提供及び解説<気象台>
- 洪水ハザードマップの配布<市町村>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載<県>
- 水害リスク空白域の解消、洪水等リスクの現地表示<国、県、市>
- 水防河川巡視<国、県、市町村>年1回
- メディア説明会の実施・参加<国、県、気象台>年1回

訓練活動

- 洪水対応演習の実施<国、富山県、市町村等>年1回
- 住民参加の避難訓練<市町村>
- 富山県総合防災訓練<国、県>
- 「学習型避難訓練」の実施<国、県、町>
- 大地震災害を想定した防災訓練<国>
- 大規模土砂災害を想定した防災訓練<国、県、市町村、自治会>年1回

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加<国、市町村>
- 防災士要請研修<富山県>
- 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化<町>

水災害対策の支援

- 民間開発事業者の開発行為の雨水調整池への補助<立山町>
- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>

計画策定

- 防災指針(立地適正化計画に基づく)の作成・公表<市、町>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<町>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎連携活動 地域 個人 企業・団体 ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	世界遺産登録推進事業（人材育成プロジェクトユースプログラム、シンポジウムの支援） 富山県砂防治山連絡調整会議にて治山事業者と顔が見える関係を構築 流域流木対策のための他機関連携	● 砂防講演会の開催	● 防災講演会の支援	
	● 「砂防フェア」にて土石流体感3Dシアター、土砂災害ミニ模型、パネル等の展示 ホームページ及びSNSでの情報提供			
	浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援、浸水実績の周知、土砂災害ソフト対策の推進 富山地区広域圏クリーンセンター展望台等での流域治水紹介パネルを展示、「流域治水とやま」ロゴマークの活用			
② 自分事と捉えることを促す ◎教育活動 地域 個人 ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎訓練活動 地域 個人	小学生を対象とした防災教育の実施、高校生・大学生を対象とした砂防体験学習の実施 住民を対象とした出前講座、砂防・防災勉強会の開催、住民を対象としたマイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組 ニーズに応じて「田んぼダム説明会」の開催、豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施 ● 土砂災害防止月間の砂防フェア			
	水位計・監視カメラの整備・活用、ホームページから管内CCTV映像・雨量情報・土砂災害リスク情報の発信、ホームページ及びインスタグラム、フェイスブックでの一般公開、河川水位等のメール配信、県管理ダム貯水位の公開 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成、土砂災害警戒区域等の指定・周知、多段階な浸水リスク情報の充実 防災気象情報の提供及び解説、洪水ハザードマップの配布、水害リスク空白域の解消、洪水等リスクの現地表示 ● 水防河川巡視 ● メディア説明会			
	洪水対応演習 ● 住民参加の避難訓練、「学習型避難訓練」の実施 ● 富山県総合防災訓練 ● 大地震災害を想定した防災訓練 ● 大規模土砂災害を想定した防災訓練			
③ 行動を誘発する ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 ◎計画策定 地域 個人 企業・団体	水防工法研修会の実施・参加、防災士要請研修、災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化			
	民間開発事業者の開発行為の雨水調整池への補助 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施			
	防災指針（立地適正化計画に基づく）の策定、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保			

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【常願寺川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 立山世界遺産登録推進事業の支援
＜国＞ R6.7.26 16名参加
- 砂防講演会の開催
＜国＞ R6.6.15 約170名参加
- 防災講演会の支援
＜国＞ R6.11.23 約170名参加

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水広報の実施＜国＞
- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用＜国＞
- 「砂防フェア」にて土石流体感3Dシアター、土砂災害ミニ模型、パネル等の展示＜国＞
- ホームページ及びSNSでの情報提供
＜国、県、市＞
- 富山地区広域圏クリーンセンター展望台等での流域治水紹介パネル展示＜国＞



クリーンセンター展望台を活用した流域治水広報

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施
＜国＞（河川）1回 176名参加、（砂防）2回 約30名参加
- 小中学校への防災教育・マイタイムラインを活用した出前講座の実施
＜県＞ 1回 28名参加、＜町＞
- 高校生・大学生を対象とした砂防体験学習の実施＜国＞
・R6.7.30 ~ R6.8.1 高校生7名参加
・R6.8.26 ~ R6.8.30 大学生3名、大学院生1名参加
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催
＜国＞（R7.2.18 富山県主催研修会講師）
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施＜県＞
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や県との連携による研修会等の実施＜町＞
- 土砂災害防止月間の砂防フェア＜県、国＞ 年1回 R6.6.8

リスク情報等の提供

- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成＜県＞
- 多段階な浸水リスク情報の充実＜国＞
- 土砂災害ハザードマップの更新・配布＜町＞
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信＜県＞
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載＜県＞
- 避難場所や経路等に関する情報周知（気象・防災情報の提供）＜町＞
- 水防河川巡視の実施・参加
＜国、県、市町村 等＞
年1回 12機関名26参加
- メディア説明会の実施・参加 ＜国、県＞
年1回 R6.7.10 33名参加



小学校への出前講座



洪水対応演習



水防河川巡視

訓練活動

- 洪水対応演習の実施・参加
＜国、県、市町村 党＞
年1回 R6.5.12
- 住民参加の避難訓練＜町＞
- 大地震災害を想定した防災訓練
＜国＞ 年1回 R6.9.3

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加
＜国、市、町＞
年1回 R6.6.13 65名参加
- 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化＜町＞



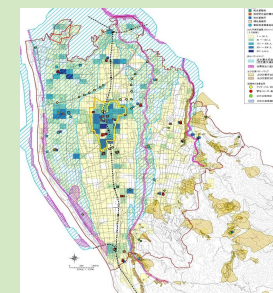
水防工法研修会

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施＜国＞

計画策定

- 防災指針（立地適正化計画に基づく）の作成・公表＜町＞
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保＜町＞



立山町立地適正化計画(素案)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【神通川水系】

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和7年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる

(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 「飛驒の砂守ツアー」
ー砂防と観光振興のマッチングー
＜国、県、市＞
- 顔の見える関係の構築・防災意識向上
・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会
・宮川・庄川流域新五流域地域委員会
＜国、県、市＞
- 流域治水対策のための他機関連携
＜国、関係機関＞
- 砂防学習活動の展開＜国、県＞
- 流域内に在籍する砂防専門家と連携した砂防学習＜国、県＞

流域治水の普及

- “流域プラットフォーム”による情報連携
- 流域治水ワークショップの実施・参加＜国、県、市＞

教育活動

- 住民・小中学校を対象とした出前講座の開催
＜国、県、市＞
- 住民を対象としたマイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組＜国、県＞
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催＜国＞
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施＜県＞
- 現場で土砂災害リスクを学ぶ。土石流映像・土石流模型によるリスク学習＜国＞
- 土砂災害防止月間の砂防フェア＜県＞年1回

訓練活動

- 洪水対応演習の実施
＜国、県、市町村等＞年1回
- 地域の建設業協会と排水ポンプ車の操作訓練を実施(出水期前1回)
＜県＞
- 住民参加の避難訓練＜市＞

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加＜国、市＞
- 防災士要請研修＜県＞

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施＜北陸農政局＞
- 水田貯留への支援＜市＞
- 希望する市民への土のう、砂の配＜市＞

水災害・流域治水の広報

- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用＜国＞
- 浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援＜国＞
- 防災訓練・ミズベリング等へ出向き
土石流模型や パネル展示＜国＞
- 流域内他事務所と連携したパネル展示、
デジタルサイネージ等の広報活動(通年)＜国＞
- 霞堤などの位置や役割を伝える
「伝統的防災施設マップ」を配布、HP掲載＜県＞
- 土砂災害ソフト対策の推進(周知)＜県＞
- ホームページ及びSNSでの情報提供＜国、県、市＞

リスク情報等の提供

- 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成
土砂災害警戒区域等の指定・周知、
多段階な浸水リスク情報の充実 ＜国、県＞
- 水害リスク空白域の解消、
洪水・土砂災害等リスクの現地表示
＜国、県、市＞
- 防災気象情報の提供及び解説＜国＞
- ハザードマップの作成・配布＜市＞
- 浸水実績の周知＜市＞
- メディア説明会の実施・参加
＜国、県＞年1回
- 水位計・監視カメラの整備・活用、HPから
管内CCTV映像・雨量情報・土砂災害リスク
情報発信、HP・Xでの一般公開＜国、県＞
- 河川水位等が基準値を超えた場合に
登録者へメール配信＜県＞
- 「ぎふ川と道のアラームメール」を活用して
市民等へ避難に資する情報の提供
＜県＞
- 県管理ダムの貯水水位を
県ホームページに記載＜県＞
- 水防河川巡視＜国、県、市＞年1回

計画策定

- 防災指針
(立地適正化計画に基づく)の策定
＜市＞
- 立地適正化計画策定及び防災指針作成支援
・安全で魅力的なまちづくり勉強会 R7.5月頃
＜県＞
- 要配慮者施設等の避難確保計画の
作成促進と避難の実効性確保＜県＞
- 市町村洪水ハザードマップの作成促進＜県＞
- 広域避難計画の検討、支援＜県＞

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援、浸水実績の周知、土砂災害ソフト対策の推進(周知)			
	流域内での防災訓練・ミズベリング等へ出向き土石流模型やパネル展示			
	ホームページ及びSNSでの情報提供、「流域治水とやま」ロゴマークの活用、「伝統的防災施設マップ」を配布・HP掲載			
② 自分事と捉えることを促す ◎連携活動 地域 個人 企業・団体	富山県砂防治山連絡調整会議にて治山事業者と顔が見える関係を構築 神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会による顔が見える関係の構築・防災意識向上			
	砂防学習活動の展開、流域内に在籍する砂防専門家と連携した砂防学習			
	流域流木対策のための他機関連携 飛騨の砂守ツアー～砂防と観光振興のマッチング～ ●			
	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体			
	洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成、土砂災害警戒区域等の指定・周知、多段階な浸水リスク情報の充実 防災気象情報の提供及び解説、「ぎふ川と道のアラームメール」の活用、河川水位等のメール配信、県管理ダム貯水位の公開 水位計・監視カメラの整備・活用、管内CCTV映像・雨量情報・土砂災害リスク情報の発信、HP・Xでの一般公開 水害リスク空白域の解消、洪水・土砂災害等リスクの現地表示、ハザードマップの作成・配布 ● 水防河川巡視 ● メディア説明会			
	小学生を対象とした防災教育の実施、住民を対象とした出前講座の開催、マイ・タイムラインの作成及び普及 現場で土砂災害リスクを学び、土石流映像・土石流模型によるリスク学習 ニーズに応じて「田んぼダム説明会」の開催、豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施 ● 土砂災害防止月間の砂防フェア			
③ 行動を誘発する ◎教育活動 地域 個人	“流域プラットフォーム”による情報連携、流域治水ワークショップの実施・参加			
	洪水対応演習 ● 住民参加の避難訓練	排水ポンプ車操作訓練の実施		
	● 安全で魅力的なまちづくり勉強会	防災指針(立地適正化計画に基づく)の策定、支援 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 市町村洪水ハザードマップの作成促進 広域避難計画の検討、支援		
	◎流域治水の普及 地域 個人	水田貯留への支援「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施 希望する市民への土のう、砂の配布		
	◎訓練活動 地域 個人	水防工法研修会の実施・参加、防災士要請研修		

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【神通川水系】

結果報告： 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる

(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- “飛驒の砂守ツアー”
—砂防と観光振興のマッチング—
<国、県、市> R6.10.20
- 顔の見える関係の構築・防災意識向上
・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会
R6.5.9
・宮川・庄川流域新五流域地域委員会
R6.9.2/R6.10.21/R6.12.24
<国、県、市>
- 流域治水対策のための他機関連携
<国> R6.11.8

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水広報の実施<国>
- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- 防災訓練・ミズベリング等へ出向き
土石流模型や パネル展示<国>
- 流域内他事務所と連携したパネル展示、
デジタルサイネージ等の広報活動<国>
- 霞堤などの位置や役割を伝える
「伝統的防災施設マップ」を配布、HP掲載
<県>
- ホームページ及びSNSでの情報提供
<国、県、市>



伝統的防災施設マップ

流域治水の普及

- “流域プラットフォーム”による情報連携
- 流域治水ワークショップの実施・参加
<市、県、国> R6.7.27/R6.12.1



流域治水ワークショップ

教育活動

- 小中学校を対象とした出前講座の実施
<国> (河川)1回 176名参加
(砂防)3回 約200名参加
<県> 2回 計77名参加
- 小中学校への防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座
<県> 1回 28名参加
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催
<国> (R7.2.18 富山県主催研修会講師)
- 土砂災害防止月間の砂防フェアの実施・参加
<県、国> R6.6.8



出前講座

リスク情報等の提供

- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成
<県>
- 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の公表
<県>
- 土砂災害警戒区域等の指定・周知
<県>
- 多段階な浸水リスク情報の充実<国>
- 内外水統合型水害リスクマップの作成<国>
- 地域の自治会と出水時の危険個所を確認し、
水害リスクに対する理解促進の取組
<県>
- 水位計・監視カメラの整備・活用<県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に
登録者へメール配信<県>
- 「ぎふ川と道のアラームメール」を活用
して市民等へ避難に資する情報の提供
<県>
- 県管理ダムの貯水水位を
県ホームページに記載 <県>
- 水防河川巡視
<国、県、市等>
R6.6.5 11機関25名参加
- メディア説明会の実施・参加<国、県>
年1回 R6.7.10 33名参加

訓練活動

- 洪水対応演習の実施・参加
<国、県、市等>年1回
- 土砂災害防止月間等における
合同防災訓練を実施<県>
- 地域の建設業協会と排水ポンプ車の
操作訓練を実施(出水期前1回)<県>



排水ポンプ車操作訓練

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加
<国、市>
R6.6.13 65名参加



水防工法研修会

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に
多面的機能支払交付金による支援を実施
<国>

計画策定

- 市町村の立地適正化計画の策定
及び防災指針の作成を支援<県>
・安全で魅力的なまちづくり勉強会
年1回/約40名参加 R6.5月

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【庄川水系】

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和7年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 顔の見える関係の構築・防災意識向上
 - ・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会
 - ・宮川・庄川流域新五流域地域委員会1
 <国、県、市>
- ショッピングセンターを活用した防災啓発活動
(ダムによる水害予防効果等の説明)
<市、国>

教育活動

- 小中学校等における水防災教育の実施<国、市>
- 住民を対象とした出前講座の開催<国、県、市>
- マイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組
<国、県、市・村>
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<北陸農政局>
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施<富山県>
- 土砂災害防止月間の砂防フェア<県>年1回

訓練活動

- 洪水対応演習の実施・参加
<国、県、市等>
- 地域の建設業協会と
排水ポンプ車の操作訓練を実施
(出水期前1回)<県>
- 住民参加の避難訓練
<市町村>
- 大規模災害を想定した防災訓練
<国、県、市>年1回

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加<国、市>
- 防災士養成研修<県>
- 排水ポンプ車、照明車等による災害支援<国>
- 水門の遠隔操作化(1箇所)<市>

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払
交付金による支援を実施<国>
- 雨水貯留施設等、水田貯留施設の整備<市>

水災害・流域治水の広報

- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- 浸水想定区域図、浸水エリア情報等の
情報普及支援<国>
- 浸水実績の周知<市>
- 土砂災害ソフト対策の推進(周知)<県>
- ホームページ及びSNSでの情報提供
<国・県・市町村>

リスク情報等の提供

- 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成、
土砂災害警戒区域等の指定・周知、
登録者へメール配信<県>
- 多段階な浸水リスク情報の充実<国、県>
- 防災気象情報の提供及び解説<気象台>
<県>
- 水位計・監視カメラの整備・活用、
HPでの一般公開<国、県>
- 水害リスク空白域の解消、洪水・土砂
災害等リスクの現地表示<国、県、市>
- 地域の消防署と出水期前に危険箇所を
確認し、水害リスクに対する理解促進の
取組<県>
- ハザードマップの作成・配布<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布<市>
(洪水・内水ハザードマップ)
- メディア説明会の実施・参加
<国、県>年1回
- 水防河川巡視<国、市>年1回

計画策定

- 防災指針(立地適正化計画に基づく)の策定<市>
- 立地適正化計画策定及び防災指針作成支援<県>
・安全で魅力的なまちづくり勉強会 R7.5月頃
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効
性確保<県、市>
- 市町村洪水ハザードマップの作成促進<県>
- 広域避難計画の検討<県>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎連携活動 地域 個人 企業・団体 ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	富山県砂防治山連絡調整会議にて治山事業者と顔が見える関係を構築	● ショッピングセンターを活用した防災啓発活動		
	浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援、浸水実績の周知、土砂災害ソフト対策の推進(周知) ホームページ及びSNSでの情報提供、「流域治水とやま」ロゴマークの活用			
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成、土砂災害警戒区域等の指定・周知、多段階な浸水リスク情報の充実 水害リスク空白域の解消、洪水・土砂災害等リスクの現地表示、ハザードマップの作成・配布 防災気象情報の提供及び解説、「ぎふ川と道のアラームメール」の活用、河川水位等のメール配信、県管理ダム貯水位の公開 水位計・監視カメラの整備・活用、土砂災害リスク情報の発信、HPでの一般公開 ● 水防河川巡視 ● メディア説明会 地域消防署との危険箇所確認			
	ニーズに応じて「田んぼダム説明会」の開催、豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施 小中学校等における水防災教育の実施 住民を対象とした出前講座の開催、マイ・タイムラインの作成及び普及 ● 土砂災害防止月間の砂防フェア			
	住民参加の避難訓練 ● 大規模災害を想定した防災訓練			
	● 安全で魅力的なまちづくり勉強会 防災指針(立地適正化計画に基づく)の策定、支援 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 市町村洪水ハザードマップの作成促進 広域避難計画の検討			
③ 行動を誘発する ◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	雨水貯留施設等、水田貯留施設の整備、「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施			
	水防工法研修会の実施・参加、防災土要請研修、水門の遠隔操作化			

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【庄川水系】

結果報告： 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 顔の見える関係の構築・防災意識向上
 - ・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会 R6.5.9
 - ・宮川・庄川流域新五流域地域委員会 R6.9.2/R6.10.21/R6.12.24
 - <国、県、市>
- ショッピングセンターを活用した防災啓発活動
(ダムによる水害予防効果等の説明)
<市、国> 1回 277人
- 流域市の職員等の技術研修会を利用して
利賀ダムの役割や効果、必要性を説明
<市、国> 2回 42人



防災啓発活動

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水広報の実施<国>
- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- ホームページ及びSNSでの情報提供
<国・県・市町村>



ラジオを活用した流域治水広報



流域治水とやま
流域治水ロゴマーク

教育活動

- 小中学校への防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座
<県> 1回 28名参加
<市> 5回 651名参加
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催
<国> (R7.2.18 富山県主催研修会講師)
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施<県>
- 土砂災害防止月間の砂防フェア<県、国> 年1回 R6.6.8

リスク情報等の提供

- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成<県>
- 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の公表<県>
- 土砂災害警戒区域等の指定・周知<県>
- 多段階な浸水リスク情報の充実<国>
- 地域の消防署と出水期前に危険箇所を確認し、
水害リスクに対する理解促進の取組<県>



地域の消防署との危険箇所確認



水防河川巡視

訓練活動

- 洪水対応演習の実施・参加
<国、県、市等>
- 土砂災害防止月間等における
合同防災訓練を実施<県>
- 地域の建設業協会と
排水ポンプ車の操作訓練を実施
(出水期前1回)<県>
- 住民参加の避難訓練
<市> 1回 1,300名参加

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加
<国、市>
年1回 R6.6.13 65名参加



排水ポンプ車操作訓練



水防工法研修会

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払
交付金による支援を実施<国>

計画策定

- 市町村の立地適正化計画の策定及び
防災指針の作成を支援<県>
・安全で魅力的なまちづくり勉強会
年1回/約40名参加 R6.5月
- 要配慮者施設等の避難確保計画の
作成促進と避難の実効性確保
<市>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【小矢部川水系】

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和7年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 富山県砂防治山連絡協議会にて治山事業者と顔が見える関係を構築<県、国>

教育活動

- 小中学校等における水防災教育の実施<国、市>
- 住民を対象とした出前講座の開催<国、市>
- マイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組<国、県、市>
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<国>
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施<県>
- 小中学校の要望に応じ、市内防災士等による出前講座実施<市>
- 土砂災害防止月間の砂防フェア<県、国>年1回

訓練活動

- 洪水対応演習の実施<国、県、市等>
- 住民参加の避難訓練<市>
- 大規模災害を想定した防災訓練<国、県、市>年1回

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加<国、市>
- 防災士養成研修<県>
- 砺波土木センターと水防資材の備蓄確認を実施<市、県>

水災害・流域治水の広報

- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- 浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援<国>
- 土砂災害ソフト対策の推進(周知)<県>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<国・県・市町村>
- 総合防災訓練時にハザードマップ等の広報活動を実施<市>

リスク情報等の提供

- 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成
多段階な浸水リスク情報の充実<国、県>
- 水位計・監視カメラの整備・活用、HPでの一般公開<国、県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載<県>
- 水害リスク空白域の解消、洪水等リスクの現地表示<国、市>
- ハザードマップの作成・配布<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布<市>(洪水・内水ハザードマップ)
- 水防河川巡視<国、県、市>年1回
- メディア説明会の実施・参加<国、県>年1回

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>
- 雨水貯留施設等、水田貯留施設の整備<市>

計画策定

- 防災指針(立地適正化計画に基づく)の策定<市>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<市>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【小矢部川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 流域治水ワークショップの実施・参加
＜市、県、国＞ R6.7.6



流域治水ワークショップ

教育活動

- 小中学校への防災教育・
マイ・タイムラインを活用した出前講座の実施
＜国＞ 年1回
＜県＞ 年1回 28名参加
＜市＞ 年5回 651名参加
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催
＜国＞ (R7.2.18 富山県主催研修会講師)
- 小中学校の要望に応じ、市内防災士等による出前講座実施
＜市＞
- 土砂災害防止月間の砂防フェア
＜県、国＞ 年1回 R6.6.8

訓練活動

- 洪水対応演習の実施
＜国＞ 年1回 R6.5.22
- 住民参加の避難訓練
＜市＞ 年1回 1,300名参加
- 積み土のう工法による水防工法訓練の実施
＜市＞ R6.10.6 79名参加



洪水対応演習



水防工法訓練(南砺市)

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加
＜国、市＞
年1回 R6.6.13 65名参加
- 消防機関への水防団待機申請等の通信体制の強化
＜市＞
- 砺波土木センターと水防資材の備蓄確認を実施
＜市、県＞



水防工法研修会

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水広報の実施＜国＞
- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用＜国＞
- ホームページ及びSNSでの情報提供
＜国・県・市＞
- 総合防災訓練時にハザードマップ等の
広報活動を実施＜市＞



ラジオを活用した流域治水広報



流域治水とやま
流域治水ロゴマーク

リスク情報等の提供

- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成＜県＞
- 多段階な浸水リスク情報の充実＜国＞
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信＜県＞
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載＜県＞
- 水防河川巡視の実施・参加
＜国、県、市等＞
年1回 17機関名29参加
- メディア説明会の実施・参加
＜国、県＞
年1回 R6.7.10 33名参加



水防河川巡視



とやま河川メール

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に
多面的機能支払交付金による支援を実施＜国＞

計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
＜市＞

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【常願寺川水系】

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに係る令和7年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 世界遺産登録推進事業(人材育成プロジェクト)ユースプログラム、シンポジウムの支援<国>
- 流域治水対策のための他機関連携<国、関係機関>
- 砂防講演会の開催<国>年1回
- 防災講演会の支援<国>

水災害・流域治水の広報

- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- 「砂防フェア」にて土石流体感3Dシアター、土砂災害ミニ模型、パネル等の展示<国、県>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<国、県、市>
- 浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援<国>
- 浸水実績の周知<市>
- 富山地区広域圏クリーンセンター展望台等での流域治水紹介パネル展示<国>

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施<国、県、市町村>
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<北陸農政局>
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施<富山県>
- 高校生・大学生を対象とした砂防体験学習の実施<国、県>
- 住民を対象とした出前講座、砂防・防災勉強会の開催<国、県、市町村>
- 住民を対象としたマイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組<国、県、市町村>
- 土砂災害防止月間の砂防フェア<国、県>年1回
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等<立山町>

リスク情報等の提供

- 水位計・監視カメラの整備・活用、ホームページから管内CCTV映像・雨量情報・土砂災害リスク情報の発信、Instagram、フェイスブックでの一般公開<国、県>
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成<富山県>
- 防災気象情報の提供及び解説<気象台>
- 洪水ハザードマップの配布<市町村>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<富山県>
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載<富山県>
- 水害リスク空白域の解消、洪水等リスクの現地表示<国、県、市>
- 水防河川巡視<国、県、市町村>年1回
- メディア説明会の実施・参加<国、県、気象台>年1回

訓練活動

- 洪水対応演習の実施<国、富山県、市町村、気象台>年1回
- 住民参加の避難訓練<市町村>
- 富山県総合防災訓練<国、県>
- 「学習型避難訓練」の実施<国、県、町>
- 大地震災害を想定した防災訓練<国>
- 大規模土砂災害を想定した防災訓練<国、県、市町村、自治会>年1回

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加<国、市町村>
- 防災士要請研修<富山県>
- 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化<立山町>

水災害対策の支援

- 民間開発事業者の開発行為の雨水調整池への補助<立山町>
- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<北陸農政局>

計画策定

- 防災指針(立地適正化計画に基づく)の作成・公表<富山市、立山町>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<立山町>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎連携活動 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>世界遺産登録推進事業（人材育成プロジェクトユースプログラム、シンポジウムの支援）</p> <p>富山県砂防治山連絡調整会議にて治山事業者と顔が見える関係を構築</p> <p>流域流木対策のための他機関連携</p>	<p>● 砂防講演会の開催</p> <p>● 「砂防フェア」にて土石流体感3Dシアター、土砂災害ミニ模型、パネル等の展示</p>	<p>● 防災講演会の支援</p>	<p>ホームページ及びSNSでの情報提供</p> <p>浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援、浸水実績の周知、土砂災害ソフト対策の推進</p> <p>富山地区広域圏クリーンセンター展望台等での流域治水紹介パネルを展示、「流域治水とやま」ロゴマークの活用</p>
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>小学生を対象とした防災教育の実施、高校生・大学生を対象とした砂防体験学習の実施</p> <p>住民を対象とした出前講座、砂防・防災勉強会の開催、住民を対象としたマイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組</p> <p>ニーズに応じて「田んぼダム説明会」の開催、豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施</p> <p>● 土砂災害防止月間の砂防フェア</p>	<p>水位計・監視カメラの整備・活用、ホームページから管内CCTV映像・雨量情報・土砂災害リスク情報の発信、ホームページ及びインスタグラム、フェイスブックでの一般公開、河川水位等のメール配信、県管理ダム貯水位の公開</p> <p>洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成、土砂災害警戒区域等の指定・周知、多段階な浸水リスク情報の充実</p> <p>防災気象情報の提供及び解説、洪水ハザードマップの配布、水害リスク空白域の解消、洪水等リスクの現地表示</p> <p>● 水防河川巡視 ● メディア説明会</p>	<p>洪水対応演習 ●</p> <p>住民参加の避難訓練、「学習型避難訓練」の実施</p> <p>● 富山県総合防災訓練</p> <p>● 大地震災害を想定した防災訓練</p> <p>● 大規模土砂災害を想定した防災訓練</p>	
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>水防工法研修会の実施・参加、防災士要請研修、災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化</p> <p>民間開発事業者の開発行為の雨水調整池への補助</p> <p>「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施</p> <p>防災指針（立地適正化計画に基づく）の策定、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</p>			

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【常願寺川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 立山世界遺産登録推進事業の支援
＜国＞ R6.7.26 16名参加
- 砂防講演会の開催
＜国＞ R6.6.15 約170名参加
- 防災講演会の支援
＜国＞ R6.11.23 約170名参加

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水広報の実施＜国＞
- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用＜国＞
- 「砂防フェア」にて土石流体感3Dシアター、土砂災害ミニ模型、パネル等の展示＜国＞
- ホームページ及びSNSでの情報提供
＜国、県、市＞
- 富山地区広域圏クリーンセンター展望台等での流域治水紹介パネル展示＜国＞



クリーンセンター展望台を活用した流域治水広報

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施
＜国＞（河川）1回 176名参加、（砂防）2回 約30名参加
- 小中学校への防災教育・マイタイムラインを活用した出前講座の実施
＜富山県＞ 1回 28名参加、＜立山町＞
- 高校生・大学生を対象とした砂防体験学習の実施＜国＞
・R6.7.30 ~ R6.8.1 高校生7名参加
・R6.8.26 ~ R6.8.30 大学生3名、大学院生1名参加
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催
＜北陸農政局＞（R7.2.18 富山県主催研修会講師）
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施＜富山県＞
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や県との連携による研修会等の実施＜立山町＞
- 土砂災害防止月間の砂防フェア＜富山県、国＞ 年1回 R6.6.8

リスク情報等の提供

- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成＜富山県＞
- 多段階な浸水リスク情報の充実＜国＞
- 土砂災害ハザードマップの更新・配布＜立山町＞
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信＜富山県＞
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載＜富山県＞
- 避難場所や経路等に関する情報周知（気象・防災情報の提供）＜立山町＞
- 水防河川巡視の実施・参加
＜国、富山県、富山市、舟橋村、立山町、気象台＞
年1回 12機関名26参加
- メディア説明会の実施・参加 ＜国、富山県、気象台＞
年1回 R6.7.10 33名参加



小学校への出前講座



洪水対応演習



水防河川巡視

訓練活動

- 洪水対応演習の実施・参加
＜国、富山県、富山市、立山町、舟橋村、気象台＞
年1回 R6.5.12
- 住民参加の避難訓練＜立山町＞
- 大地震災害を想定した防災訓練
＜国＞ 年1回 R6.9.3

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加
＜国、富山市、立山町＞
年1回 R6.6.13 65名参加
- 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化＜立山町＞



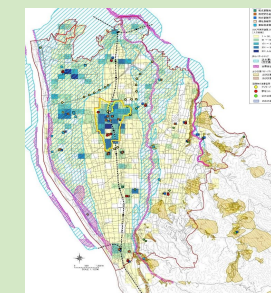
水防工法研修会

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施＜北陸農政局＞

計画策定

- 防災指針（立地適正化計画に基づく）の作成・公表＜立山町＞
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保＜立山町＞



立山町立地適正化計画（素案）

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【神通川水系】

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに係る令和7年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる

(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 「飛驒の砂守ツアー」
ー砂防と観光振興のマッチングー
<国、県、市>
- 顔の見える関係の構築・防災意識向上
・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会
・宮川・庄川流域新五流域地域委員会
<国、県、市>
- 流域流木対策のための他機関連携
<国、関係機関>
- 砂防学習活動の展開<国、県>
- 流域内に在籍する砂防専門家と連携した砂防学習<国、県>

流域治水の普及

- “流域プラットフォーム”による情報連携
- 流域治水ワークショップの実施・参加<国、県、市>

教育活動

- 住民・小中学校を対象とした出前講座の開催
<国、岐阜県、富山市、高山市、飛騨市>
- 住民を対象としたマイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組<国、富山県、岐阜県>
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<北陸農政局>
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施<富山県>
- 現場で土砂災害リスクを学ぶ。土石流映像・土石流模型によるリスク学習<国>
- 土砂災害防止月間の砂防フェア<県>年1回

訓練活動

- 洪水対応演習の実施
<国、富山県、市町村、気象台>年1回
- 地域の建設業協会と排水ポンプ車の操作訓練を実施(出水期前1回)
<岐阜県>
- 住民参加の避難訓練<市>

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加<国、市>
- 防災士要請研修<県>

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に
多面的機能支払交付金による
支援を実施<北陸農政局>
- 水田貯留への支援<市>
- 希望する市民への土のう、砂の配<市>

水災害・流域治水の広報

- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- 浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援<国>
- 防災訓練・ミズベリング等へ出向き
土石流模型や パネル展示<国>
- 流域内他事務所と連携したパネル展示、
デジタルサイネージ等の広報活動(通年)<国>
- 霞堤などの位置や役割を伝える
「伝統的防災施設マップ」を配布、HP掲載<岐阜県>
- 土砂災害ソフト対策の推進(周知)<県>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<国、県、市>

リスク情報等の提供

- 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成
土砂災害警戒区域等の指定・周知、
多段階な浸水リスク情報の充実 <国、県>
- 水害リスク空白域の解消、
洪水・土砂災害等リスクの現地表示
<国、県、市>
- 防災気象情報の提供及び解説<国>
- ハザードマップの作成・配布<市>
- 浸水実績の周知<市>
- メディア説明会の実施・参加
<国、富山県、気象台>年1回
- 水位計・監視カメラの整備・活用、HPから
管内CCTV映像・雨量情報・土砂災害リスク
情報発信、HP・Xでの一般公開<国、県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に
登録者へメール配信<富山県>
- 「ぎふ川と道のアラームメール」を活用して
市民等へ避難に資する情報の提供
<岐阜県>
- 県管理ダムの貯水水位を
県ホームページに掲載<富山県>
- 水防河川巡視<国、県、市>年1回

計画策定

- 防災指針
(立地適正化計画に基づく)の策定
<市>
- 立地適正化計画策定及び防災指針作成支援
・安全で魅力的なまちづくり勉強会 R7.5月頃
<岐阜県>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の
作成促進と避難の実効性確保<県>
- 市町村洪水ハザードマップの作成促進<県>
- 広域避難計画の検討、支援<県>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人 企業・団体	浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援、浸水実績の周知、土砂災害ソフト対策の推進(周知) 流域内での防災訓練・ミズベリング等へ出向き土石流模型やパネル展示 ホームページ及びSNSでの情報提供、「流域治水とやま」ロゴマークの活用、「伝統的防災施設マップ」を配布・HP掲載			
	富山県砂防治山連絡調整会議にて治山事業者と顔が見える関係を構築 神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会による顔が見える関係の構築・防災意識向上 砂防学習活動の展開、流域内に在籍する砂防専門家と連携した砂防学習 流域流木対策のための他機関連携 飛驒の砂守ツアー～砂防と観光振興のマッチング～ ●			
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎流域治水の普及 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成、土砂災害警戒区域等の指定・周知、多段階な浸水リスク情報の充実 防災気象情報の提供及び解説、「ぎふ川と道のアラームメール」の活用、河川水位等のメール配信、県管理ダム貯水位の公開 水位計・監視カメラの整備・活用、管内CCTV映像・雨量情報・土砂災害リスク情報の発信、HP・Xでの一般公開 水害リスク空白域の解消、洪水・土砂災害等リスクの現地表示、ハザードマップの作成・配布 ● 水防河川巡視 ● メディア説明会			
	小学生を対象とした防災教育の実施、住民を対象とした出前講座の開催、マイ・タイムラインの作成及び普及 現場で土砂災害リスクを学び、土石流映像・土石流模型によるリスク学習 ニーズに応じて「田んぼダム説明会」の開催、豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施 ● 土砂災害防止月間の砂防フェア			
	“流域プラットフォーム”による情報連携、流域治水ワークショップの実施・参加			
	洪水対応演習 ● 住民参加の避難訓練 排水ポンプ車操作訓練の実施			
	● 安全で魅力的なまちづくり勉強会			
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	防災指針(立地適正化計画に基づく)の策定、支援 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 市町村洪水ハザードマップの作成促進 広域避難計画の検討、支援			
	水田貯留への支援「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施 希望する市民への土のう、砂の配布			
	水防工法研修会の実施・参加、防災士要請研修			

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【神通川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる

(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- “飛騨の砂守ツアー”
—砂防と観光振興のマッチング—
＜国、県、市＞ R6.10.20
- 顔の見える関係の構築・防災意識向上
・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会
R6.5.9
・宮川・庄川流域新五流域地域委員会
R6.9.2/R6.10.21/R6.12.24
＜国、岐阜県、市＞
- 流域流木対策のための他機関連携
＜国、中部森林管理局＞ R6.11.8

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水広報の実施＜国＞
- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用＜国＞
- 防災訓練・ミズベリング等へ出向き
土石流模型や パネル展示＜国＞
- 流域内他事務所と連携したパネル展示、
デジタルサイネージ等の広報活動＜国＞
- 霞堤などの位置や役割を伝える
「伝統的防災施設マップ」を配布、HP掲載
＜岐阜県＞
- ホームページ及びSNSでの情報提供
＜国、県、市＞



伝統的防災施設マップ

流域治水の普及

- “流域プラットフォーム”による情報連携
- 流域治水ワークショップの実施・参加
＜富山市、富山県、国＞ R6.7.27/R6.12.1



流域治水ワークショップ

教育活動

- 小中学校を対象とした出前講座の実施
＜国＞（河川）1回 176名参加
（砂防）3回 約200名参加
＜岐阜県＞ 2回 計77名参加
- 小中学校への防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座
＜富山県＞ 1回 28名参加
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催
＜北陸農政局＞（R7.2.18 富山県主催研修会講師）
- 土砂災害防止月間の砂防フェアの実施・参加
＜富山県、国＞ R6.6.8



出前講座

リスク情報等の提供

- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成
＜富山県＞
- 洪水浸水想定区域図（県管理河川）の公表
＜岐阜県＞
- 土砂災害警戒区域等の指定・周知
＜岐阜県＞
- 多段階な浸水リスク情報の充実＜国＞
- 内外水統合型水害リスクマップの作成＜国＞
- 地域の自治会と出水時の危険箇所を確認し、
水害リスクに対する理解促進の取組
＜岐阜県＞
- 水位計・監視カメラの整備・活用＜岐阜県＞
- 河川水位等が基準値を超えた場合に
登録者へメール配信＜富山県＞
- 「ぎふ川と道のアラームメール」を活用
して市民等へ避難に資する情報の提供
＜岐阜県＞
- 県管理ダムの貯水水位を
県ホームページに記載＜富山県＞
- 水防河川巡視
＜国、富山県、富山市、気象台 等＞
R6.6.5 11機関25名参加
- メディア説明会の実施・参加＜国、富山県、気象台＞
年1回 R6.7.10 33名参加

訓練活動

- 洪水対応演習の実施・参加
＜国、富山県、富山市、気象台 等＞年1回
- 土砂災害防止月間等における
合同防災訓練を実施＜岐阜県＞
- 地域の建設業協会と排水ポンプ車の
操作訓練を実施（出水期前1回）＜岐阜県＞



排水ポンプ車操作訓練

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加
＜国、富山市＞
R6.6.13 65名参加



水防工法研修会

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に
多面的機能支払交付金による支援を実施
＜北陸農政局＞

計画策定

- 市町村の立地適正化計画の策定
及び防災指針の作成を支援＜岐阜県＞
・安全で魅力的なまちづくり勉強会
年1回/約40名参加 R6.5月

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【庄川水系】

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和7年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 顔の見える関係の構築・防災意識向上
 - ・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会
 - ・宮川・庄川流域新五流域地域委員会1
 <国、県、市>
- ショッピングセンターを活用した防災啓発活動
(ダムによる水害予防効果等の説明)
<砺波市、国>

教育活動

- 小中学校等における水防災教育の実施<国、市>
- 住民を対象とした出前講座の開催<国、県、市>
- マイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組
<国、県、市・村>
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<北陸農政局>
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施<富山県>
- 土砂災害防止月間の砂防フェア<県>年1回

訓練活動

- 洪水対応演習の実施・参加
<国、富山県、気象台等>
- 地域の建設業協会と
排水ポンプ車の操作訓練を実施
(出水期前1回)<岐阜県>
- 住民参加の避難訓練
<市町村>
- 大規模災害を想定した防災訓練
<国、県、市>年1回

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加<国、市>
- 防災士養成研修<県>
- 排水ポンプ車、照明車等による災害支援<国>
- 水門の遠隔操作化(1箇所)<砺波市>

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<北陸農政局>
- 雨水貯留施設等、水田貯留施設の整備<市>

水災害・流域治水の広報

- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- 浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援<国>
- 浸水実績の周知<市>
- 土砂災害ソフト対策の推進(周知)<県>
- ホームページ及びSNSでの情報提供
<国・県・市町村>

リスク情報等の提供

- 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成、土砂災害警戒区域等の指定・周知、多段階な浸水リスク情報の充実<国、県>
- 防災気象情報の提供及び解説<気象台><富山県>
- 水位計・監視カメラの整備・活用、HPでの一般公開<国、県>
- 地域の消防署と出水期前に危険箇所を確認し、水害リスクに対する理解促進の取組<岐阜県>
- メディア説明会の実施・参加
<国、富山県、気象台>年1回
- 河川水位等が基準値を超えた場合に
登録者へメール配信<富山県>
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載
<富山県>
- 水害リスク空白域の解消、洪水・土砂災害等リスクの現地表示<国、県、市>
- ハザードマップの作成・配布<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布<砺波市>
(洪水・内水ハザードマップ)
- 水防河川巡視<国、市>年1回

計画策定

- 防災指針(立地適正化計画に基づく)の策定<市>
- 立地適正化計画策定及び防災指針作成支援<岐阜県>
・安全で魅力的なまちづくり勉強会 R7.5月頃
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<県、砺波市>
- 市町村洪水ハザードマップの作成促進<県>
- 広域避難計画の検討<県>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎連携活動 地域 個人 企業・団体 ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	富山県砂防治山連絡調整会議にて治山事業者と顔が見える関係を構築	● ショッピングセンターを活用した防災啓発活動		
	浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援、浸水実績の周知、土砂災害ソフト対策の推進(周知) ホームページ及びSNSでの情報提供、「流域治水とやま」ロゴマークの活用			
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成、土砂災害警戒区域等の指定・周知、多段階な浸水リスク情報の充実 水害リスク空白域の解消、洪水・土砂災害等リスクの現地表示、ハザードマップの作成・配布 防災気象情報の提供及び解説、「ぎふ川と道のアラームメール」の活用、河川水位等のメール配信、県管理ダム貯水位の公開 水位計・監視カメラの整備・活用、土砂災害リスク情報の発信、HPでの一般公開 ● 水防河川巡視 ● メディア説明会 地域消防署との危険箇所確認	ニーズに応じて「田んぼダム説明会」の開催、豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施 小中学校等における水防災教育の実施 住民を対象とした出前講座の開催、マイ・タイムラインの作成及び普及 ● 土砂災害防止月間の砂防フェア		
		● 大規模災害を想定した防災訓練		
		● 安全で魅力的なまちづくり勉強会		
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 企業・団体 ◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	防災指針(立地適正化計画に基づく)の策定、支援 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 市町村洪水ハザードマップの作成促進 広域避難計画の検討	雨水貯留施設等、水田貯留施設の整備、「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施		
		水防工法研修会の実施・参加、防災土要請研修、水門の遠隔操作化		

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【庄川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 顔の見える関係の構築・防災意識向上
 - ・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会 R6.5.9
 - ・宮川・庄川流域新五流域地域委員会 R6.9.2/R6.10.21/R6.12.24
 - <国、岐阜県、市>
- ショッピングセンターを活用した防災啓発活動
(ダムによる水害予防効果等の説明)
<砺波市、国> 1回 277人
- 流域市の職員等の技術研修会を利用して利賀ダムの役割や効果、必要性を説明
<砺波市、国> 2回 42人



防災啓発活動

教育活動

- 小中学校への防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座
 - <富山県> 1回 28名参加
 - <砺波市> 5回 651名参加
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催
<北陸農政局>(R7.2.18 富山県主催研修会講師)
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施<富山県>
- 土砂災害防止月間の砂防フェア<県> 年1回 R6.6.8

リスク情報等の提供

- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成<富山県>
- 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の公表<岐阜県>
- 土砂災害警戒区域等の指定・周知<岐阜県>
- 多段階な浸水リスク情報の充実<国>
- 地域の消防署と出水期前に危険箇所を確認し、水害リスクに対する理解促進の取組<岐阜県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<富山県>
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載<富山県>
- 岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信<岐阜県>
- 土砂災害等リスクの現地表示<岐阜県>
- 総合的な防災マップの作成・配布<砺波市>
(洪水・内水ハザードマップ)



地域の消防署との危険箇所確認



水防河川巡視

訓練活動

- 洪水対応演習の実施・参加
<国、富山県、市、気象台>
- 土砂災害防止月間等における合同防災訓練を実施<岐阜県>
- 地域の建設業協会と排水ポンプ車の操作訓練を実施(出水期前1回)<岐阜県>
- 住民参加の避難訓練
<砺波市> 1回 1,300名参加

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加
<国、富山市、高岡市、射水市、砺波市>
年1回 R6.6.13 65名参加



排水ポンプ車操作訓練



水防工法研修会

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<北陸農政局>

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水広報の実施<国>
- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- ホームページ及びSNSでの情報提供
<国・県・市町村>



ラジオを活用した流域治水広報



流域治水とやま
流域治水ロゴマーク

計画策定

- 市町村の立地適正化計画の策定及び防災指針の作成を支援<岐阜県>
- ・安全で魅力的なまちづくり勉強会
年1回/約40名参加 R6.5月
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
<砺波市>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【小矢部川水系】

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和7年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 富山県砂防治山連絡協議会にて治山事業者と顔が見える関係を構築<県、国>

教育活動

- 小中学校等における水防災教育の実施<国、市>
- 住民を対象とした出前講座の開催<国、市>
- マイ・タイムラインの作成及び普及に関する取組<国、県、市>
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<北陸農政局>
- 豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施<富山県>
- 小中学校の要望に応じ、市内防災士等による出前講座実施<南砺市>
- 土砂災害防止月間の砂防フェア<県、国>年1回

訓練活動

- 洪水対応演習の実施<国、富山県、市、気象台>
- 住民参加の避難訓練<市>
- 大規模災害を想定した防災訓練<国、県、市>年1回

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加<国、市>
- 防災士養成研修<県>
- 砺波土木センターと水防資材の備蓄確認を実施<南砺市、富山県>

水災害・流域治水の広報

- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用<国>
- 浸水想定区域図、浸水エリア情報等の情報普及支援<国>
- 土砂災害ソフト対策の推進(周知)<県>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<国・県・市町村>
- 総合防災訓練時にハザードマップ等の広報活動を実施<南砺市>

リスク情報等の提供

- 洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成多段階な浸水リスク情報の充実<国、県>
- 水位計・監視カメラの整備・活用、HPでの一般公開<国、県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<富山県>
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載<富山県>
- 水害リスク空白域の解消、洪水等リスクの現地表示<国、市>
- ハザードマップの作成・配布<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布<砺波市>(洪水・内水ハザードマップ)
- 水防河川巡視<国、県、市>年1回
- メディア説明会の実施・参加<国、富山県、気象台>年1回

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<北陸農政局>
- 雨水貯留施設等、水田貯留施設の整備<市>

計画策定

- 防災指針(立地適正化計画に基づく)の策定<市>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<市>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎連携活動 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>富山県砂防治山連絡調整会議にて治山事業者と顔が見える関係を構築</p>			
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>洪水浸水想定区域図(県管理河川)の作成、土砂災害警戒区域等の指定・周知、多段階な浸水リスク情報の充実</p> <p>水害リスク空白域の解消、洪水等リスクの現地表示、ハザードマップの作成・配布</p> <p>防災気象情報の提供及び解説、河川水位等のメール配信、県管理ダム貯水位の公開</p> <p>水位計・監視カメラの活用、土砂災害リスク情報の発信、HPでの一般公開</p> <p>● 水防河川巡視 ● メディア説明会</p>	<p>ニーズに応じて「田んぼダム説明会」の開催、豪雨災害等を議題とした防災気象講演会等の実施、市内防災士による出前講座の実施</p> <p>小中学校等における水防災教育の実施</p> <p>住民を対象とした出前講座の開催、マイ・タイムラインの作成及び普及</p> <p>● 土砂災害防止月間の砂防フェア</p>	<p>洪水対応演習 ●</p> <p>住民参加の避難訓練</p>	<p>● 大規模災害を想定した防災訓練</p>
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>防災指針（立地適正化計画に基づく）の策定</p> <p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</p>	<p>雨水貯留施設等、水田貯留施設の整備</p>		<p>水防工法研修会の実施・参加、防災士要請研修、土木センターとの水防資材備蓄状況の確認</p>

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【小矢部川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 流域治水ワークショップの実施・参加
＜小矢部市、富山県、国＞ R6.7.6



流域治水ワークショップ

教育活動

- 小中学校への防災教育・
マイ・タイムラインを活用した出前講座の実施
＜国＞ 年1回
＜富山県＞ 年1回 28名参加
＜砺波市＞ 年5回 651名参加
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催
＜北陸農政局＞(R7.2.18 富山県主催研修会講師)
- 小中学校の要望に応じ、市内防災士等による出前講座実施
＜南砺市＞
- 土砂災害防止月間の砂防フェア
＜富山県、国＞ 年1回 R6.6.8

訓練活動

- 洪水対応演習の実施
＜国＞ 年1回 R6.5.22
- 住民参加の避難訓練
＜砺波市＞ 年1回 1,300名参加
- 積み土の工法による水防工法訓練の実施
＜南砺市＞ R6.10.6 79名参加



洪水対応演習



水防工法訓練(南砺市)

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施・参加
＜国、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市＞
年1回 R6.6.13 65名参加
- 消防機関への水防団待機申請等の通信体制の強化
＜南砺市＞
- 砺波土木センターと水防資材の備蓄確認を実施
＜南砺市、県＞



水防工法研修会

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水広報の実施＜国＞
- 「流域治水とやま」ロゴマーク活用＜国＞
- ホームページ及びSNSでの情報提供
＜国・県・市＞
- 総合防災訓練時にハザードマップ等の
広報活動を実施＜南砺市＞



ラジオを活用した流域治水広報



流域治水とやま
流域治水ロゴマーク

リスク情報等の提供

- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成＜富山県＞
- 多段階な浸水リスク情報の充実＜国＞
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信＜富山県＞
- 県管理ダムの貯水位を県ホームページに記載＜富山県＞
- 水防河川巡視の実施・参加
＜国、富山県、高岡市、射水市、小矢部市、気象台 等＞
年1回 17機関名29参加
- メディア説明会の実施・参加
＜国、富山県、気象台＞
年1回 R6.7.10 33名参加



水防河川巡視



とやま河川メール

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に
多面的機能支払交付金による支援を実施＜北陸農政局＞

計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
＜砺波市＞

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える